

## Ⅱ 年間指導計画

《年間指導計画》

	職員会議等	未然防止に向けた取組	早期発見に向けた取組	未然防止、早期発見に向けて
4月	いじめ対策委員会 ・指導方針の確認 ・1学期計画作成  職員会議 ※1	生活実態アンケート  人間関係づくり 学級・学年づくり	生活実態アンケート ※2  ※3	1 すべての教職員が、いじめ問題の重要性を認識する。 2 いじめ対策委員会を中心に、定期的に未然防止に向けた取組を行う。 3 各個人の様子を学年会議等で情報交換を行い、具体的な口指導の留意点について職員会議や、職員研修会で取り上げて共通理解を図る。 4 各担任や部活動顧問が、いじめの問題を一人で抱え込むことなく、報告・連絡・相談を確実にに行い、学校全体で組織的に対応する。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;">                         危機管理の心構え「さしすせそ」                          さ：最悪を想定する                          し：慎重に対処する                          す：素早く対処する                          せ：誠意を持って対処する                          そ：組織全体で対処する                     </div>
5月	保護者向け啓発 (ネットいじめを含む) PTA総会、保護者会 ※6  職員会議	カウンセリングマインド 研修会 ※4  (拓翔祭)		
6月	いじめアンケート実施  職員会議	いじめ実態把握調査 ※9	いじめ実態把握調査	
7月	職員会議	(3年球技大会)  情報教育講演会 ※7	三者面談 個別面談 個人状況把握	
8月	職員会議		教育相談・個人面談・個人状況把握・通年	
9月	いじめ対策委員会 ・情報共有 ・2学期計画作成  いじめアンケート実施  職員会議	人間関係づくり 学級・学年づくり  いじめ実態把握調査 保護者向けアンケート ※5  (体育祭)	いじめ実態把握調査 保護者向けアンケート	
10月	職員会議	カウンセリングマインド 研修会		
11月	職員会議	人権教育研修会 ※8  (1, 2年球技大会)	三者面談 or 個別面談 個人状況把握	
12月	いじめ対策委員会 ・情報共有 ・3学期計画作成  いじめアンケート実施  職員会議	人権教育研修会 ※8  (2年修学旅行)		
1月	職員会議	いじめ実態把握調査  次年度に向けクラスづくり	いじめ実態把握調査	
2月	いじめ対策委員会 ・本年度まとめ、課題検討 ・次年度の指導方針改善 ・次年度の指導計画修正  職員会議	情報モラル研修 ※8	必要に応じて 三者面談 or 個別面談 個人状況把握	

- ※1 職員会議  
いじめ防止基本方針を確認し、指導方針や指導計画を提示し、全教職員で共通理解を図る。
- ※2 生活実態(いじめ)アンケート  
年度当初、生活実態調査と同時にいじめの実態把握調査を行う。
- ※3 教育相談・個人面談・個人状況把握(通年)  
通年を通して担任の判断で、個人面談を実施したりして、生活状況把握するとともに、クラス内の生徒状況を把握し、いじめが起こっていないかどうかを確認する。
- ※4 カウンセリングマインド研修  
ロールプレイ等、研修の実施の仕方を工夫するなど効果的な研修を実施する。
- ※5 いじめ実態把握調査  
生徒、保護者を対象としたいじめ問題への意識調査を実施し、それをもとに特別支援の計画等を作成する。
- ※6 保護者向け啓発／研修  
保護者会や学校ホームページ等を活用して、学校のいじめ防止基本方針を周知するとともに、保護者からいじめを含む様々な情報を収集する。
- ※7 情報教育講演会  
昨今のソーシャルネットワークサービス(SNS)等の情報ネットワークにまつわるトラブル等について生徒向けに講演を実施し、情報セキュリティについての注意を喚起する。HRIにおいて情報教育講演会の感想を書くとともに、ネットいじめ等を含み、正しい情報機器の使い方を話し合う。
- ※8 人権教育研修／情報モラル研修  
人権の問題として、いじめ、ネットいじめ、情報モラル等についての研修会を実施する。
- ※9 学級・学年づくり／人間関係づくり  
1学期、2学期を通して、クラスや学年の人間関係づくりについてLHR等で学習するとともに、ふるさと貢献活動等で体験する。